

インプラント撤去

『Piezosurgery® によるインプラントの撤去』

医療法人社団清貴会 小川歯科 天王洲インプラントセンター 小川勝久

インプラント周囲炎や感染によってインプラント周囲の骨が吸収し、不幸にもインプラントの撤去をせざるを得ない場合、トレファンバーや外科用のマイクロソー等の器具では、周囲軟組織の剥離が必要であったり、当該周囲骨の外科的侵襲が多かった。

今回紹介するピエゾサージェリーを応用することで、撤去する骨のダメージを最小限に抑えるだけでなく、軟組織の傷つける事が無いことから、剥離を必要とせず、非常に低侵襲で安全な術式である。使用するチップは、スカルペル状の刃を持つ EX1 等が有効である。抜去するインプラントに沿って骨内に押し当てて、チップを多方向から挿入し、インプラントと骨の骨接合を剥離した後、挿入器具等を装着し逆回転させることで、簡単に除去出来る。



インサージョンチップ EX1



左上側切歯がインプラント周囲炎に罹患し、周囲骨の吸収を認める。

上部構造を外し、EX1 を用いてインプラントに沿って骨を削っていく。



レントゲン等を用いて、インプラント周囲の骨を的確に削れているかを確認すると良い

インプラント周囲骨の削合後、挿入器具等を逆回転する事を簡単に撤去出来る。



周囲骨や軟組織のダメージが非常に少ないことから、コラーゲン製剤等を用いて止血後、上部構造の当該部にはレジン充填等で形態を整えた後、直ちに装着することが出来る。

術後 軟組織の剥離や周囲骨の外科的侵襲が非常に少ないことから、周囲軟組織の裂開や吸収もなく審美性損なうことなくインプラントの撤去を行う事が出来た。